

定例公安委員会の開催状況について

令和2年1月9日（木）に、第1回定例山形県公安委員会を開催し、議事の概要は次のとおりでした。

1 警察職員に対する懲戒処分について

警察職員に対する懲戒処分について報告があった。

委員のコメント

- 懲戒処分をしなければならない事態に至ったことは、非常に残念なことである。このようなことが起こること自体が、県民にとっては信じられないことである。ただ、今回はしっかりと再発防止対策を立てているので、今後は基本をしっかりと遵守させ、県民の信頼回復に邁進してほしい。
- 警視という指導的立場の者が起こした非違事案であり、県民の中には処分の内容に納得がいかない人もいるかと思われるが、基準に照らして公正に処分を検討した結果であるから、適正な処分であると思う。このような事案が発生したことは残念であるが、前向きに再発防止を図ってほしい。
- 今回の事態については大変遺憾である。本部長及び首席監察官から詳しい説明を受けて、この処分に関しては妥当であると判断した。再発防止対策についても説明を受け、詳細で具体的な内容であったので、二度と発生しないよう進めてほしい。一方で、他の警察職員の士気が下がることが懸念されるので、特段の配慮をしてほしい。

2 住吉会系暴力団幹部組員に対する再発防止命令の発出について

住吉会系暴力団幹部組員に対して再発防止命令を発出したことについて報告があった。

※ 再発防止命令

指定暴力団員が禁止行為（本件は露店の場所代を要求）を行った場合において、同様の行為を反復して行うおそれがあると認めるときに、1年以内の期間を定めて、再発を防止するために発出する命令。

委員のコメント

- 現在このような情勢にあって、再発防止命令を発出することは妥当であると思う。今後、勢力の立て直しが図られないように、あらゆる法令を適用して組織の壊滅を図ってほしい。
- 再発防止命令が発出されたことは、県民の安全安心の確保に資する有効な手段であると思う。祭りの際にはたくさんの屋台が出るが、暴力団の資金源にならないように期待する。
- 全国的には複数の暴力団が特定抗争指定暴力団に指定されているように、暴力団の活動が活発になってきている。このような情勢が山形県に波及しないようにしっかりと把握しておいてほしい。

3 令和元年中の交通事故発生状況等について

令和元年中の交通事故発生状況、防止対策と課題・今後の取組等について報告があった。

委員のコメント

- 交通事故に関する統計の分析を緻密に行っていることから、課題が明確に見える。対策を講じた課題については、しっかりと改善しているので、今後も対策を継続してほしい。
- 交通事故による死者数が減少したことは、これまでの取組の成果であると思うが、更に死者数を減らすためにも信号機のない横断歩道における歩行者妨害違反の取締りについては、今後も引き続き推進してほしい。
- 全国の統計と比較しても良い結果であり、本県警察職員の努力の成果であると評価する。これまでの対策は当を得ていると思われるので、今年も更に死者数が減少するように対策を継続してほしい。

4 災害警備本部機能移転訓練の実施について

大規模災害発生時、警察本部庁舎等が損壊するなどして災害警備本部の設置が困難となった場合でも、迅速・的確に災害対処の指揮が執れるよう代替施設にその機能を移転することを目的とした訓練を、本年1月15日に実施することについて報告があった。

委員のコメント

- 日頃からこういった訓練をして、いざというときの行動を確認しておくことは必要である。どのような訓練結果であったか、是非報告してほしい。
- 実際に大規模災害が発生して本部機能を移転せざるを得ない状況になれば、相当の混乱が発生すると思われる。考え得る限りの想定の下にあらかじめ訓練しておく機会は大変貴重であるから、課題を抽出して対処してほしい。
- 警備部と情報通信部が合同で実施する訓練であるから、現実に即した効果的な訓練になると思う。いつ大規模災害が発生するかわからないので、意義のある訓練である。